

# 7 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (平成31年版抜粋)

## 8章4節 ALCパネル

### 8.4.3 外壁パネル構成

(1) 外壁パネル構成は表8.4.2により、種別は特記による。

表8.4.2 外壁パネル構成の種別

種別	外壁パネル構成
A種	(縦壁ロッキング構成) (1) パネルは、各段ごとに、構造体に固定した下地鋼材に取り付ける。 (2) 取付け金物は、パネルの上下端部に、ロッキングできるように取り付ける。
B種	(横壁アンカー構成) パネルの左右端は、アンカー及び取付け金物で接合する。

### 8.4.4 間仕切壁パネル構成

(1) 間仕切パネル構成は表8.4.3により、種別は特記による。

表8.4.3 間仕切壁パネル構成の種別

種別	間仕切壁パネル構成
C種	(縦壁ロッキング構成)表8.4.2のA種による。
D種	(横壁アンカー構成)表8.4.2のB種による。
E種	(縦壁フットプレート構成) (1) パネル上端は、次のいずれかによる。 (ア) 梁、スラブ等の下面にパネル厚さに応じた溝形鋼を通しに取り付ける。 (イ) 梁、スラブ等の下面に、一方は通しの山形鋼を、他方は同材のピースで取り付ける。 (2) パネル下端は、取付け金物で取り付ける。

### 8.4.5 屋根及び床パネル構成

(1) 屋根及び床パネル構成は表8.4.4による。

表8.4.4 屋根及び床パネル構成の種別

種別	屋根及び床パネル構成
F種	(敷設筋構成) (1) パネルは、表裏を正しく置き、有効な掛り代を確保して、長辺は突き合わせ、短辺小口相互の接合部には20mm程度の目地を設け、支持梁上になじみよく敷き並べる。 (2) 取付け金物は、溶接等により受材に固定し、目地用鉄筋を取付け金物の孔に通し、パネルの長辺溝部に金物から500mm以上挿入する。 (3) 目地用モルタルを、パネルの長辺溝部及び短辺に設けた目地部分に充填する。

## 9章7節 シーリング

表9.7.1 被着体の組合せとシーリング材の種類

被着体の組合せ			シーリング材の種類	
			記号	主成分による区分
金属	金属		MS-2	変成シリコーン系
	コンクリート			
	ガラス		SR-1	シリコーン系
	石、タイル		MS-2	変成シリコーン系
	ALC	仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系
		仕上げあり <sup>(注)1</sup>	PU-2	ポリウレタン系
	押出成形セメント板		MS-2	変成シリコーン系
ポリ塩化ビニル樹脂成形材(樹脂製建具) <sup>(注)2</sup>	ポリ塩化ビニル樹脂成形材(樹脂製建具) <sup>(注)2</sup>		MS-2	変成シリコーン系
	コンクリート			
	ガラス		SR-1	シリコーン系
	石、タイル		MS-2	変成シリコーン系
	ALC	仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系
		仕上げあり <sup>(注)1</sup>	PU-2	ポリウレタン系
	押出成形セメント板		MS-2	変成シリコーン系
ガラス	ガラス		SR-1	シリコーン系
石	石	外壁乾式工法の目地	MS-2	変成シリコーン系
		上記以外の目地	PS-2	ポリサルファイド系
コンクリート	プレキャストコンクリート		MS-2	変成シリコーン系
	打継ぎ目地 ひび割れ誘発目地	仕上げなし	PS-2	ポリサルファイド系
		仕上げあり <sup>(注)1</sup>	PU-2	ポリウレタン系
	石、タイル		PS-2	ポリサルファイド系
	ALC	仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系
		仕上げあり <sup>(注)1</sup>	PU-2	ポリウレタン系
押出成形セメント板	仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系	
	仕上げあり <sup>(注)1</sup>	PU-2	ポリウレタン系	
ALC	ALC	仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系
		仕上げあり <sup>(注)1</sup>	PU-2	ポリウレタン系
押出成形セメント板	押出成形セメント板	仕上げなし	MS-2	変成シリコーン系
		仕上げあり <sup>(注)1</sup>	PU-2	ポリウレタン系
水回り	浴室・浴槽		SR-1	シリコーン系 <sup>(注)3</sup>
	キッチン・キャビネット回り			
	洗面・化粧台回り			
タイル	タイル(伸縮調整目地) <sup>(注)4</sup>		PS-2	ポリサルファイド系
		アルミニウム製建具等の工場シール <sup>(注)5</sup>		

(注) 1. 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に仕上塗材、塗装等を行う場合を示す。  
 2. ポリ塩化ビニル樹脂成形材は、JIS A 5558 (無可塑ポリ塩化ビニル製建具用成形材)による。  
 3. 防かびタイプの1成分形シリコーン系とする。  
 4. 外装壁タイル接着剤張りにおける伸縮調整目地は、11.3.4(1)による。  
 5. 現場施工のシーリング材と打継ぎが発生する場合の工場シーリング材を示す。  
 6. 材料引張強度の低いものは、50%モジュラスが材料引張強度の1/2以下のものを使用する。  
 なお、被着体がALCパネルの場合は、50%モジュラスが0.2N/mm<sup>2</sup>以下とする。

※このカタログに記載された商品は、品質向上を目的に予告なく設計仕様や取り扱いを変更することがありますので、ご了承ください。

COPYRIGHT©SUMITOMO METAL MINING SIPOREX ALL RIGHTS RESERVED.